

秋田県
よろず支援拠点
株式会社
コシヤマ

自社独自の木製製品の
リターゲットを実施。
関東圏の富裕層向けに発信



我々の技術を
BtoC路線で発信する方法を
一緒に考えてくれました。

無垢材を使用した高耐久の外部建具を実現

木都・能代に構える株式会社コシヤマ。昭和15年に初代が家具を専門とする「腰山家具製作所」を創業。2代目は障子や襖など内部建具の製造を行っていた。現在、3代目となった腰山さんは、和室需要が年々減っていることやそのライバルの多さから事業を方向転換。和室に使用される無垢材が伸縮する性質をもち、外部建具へ進出する業者が少なかったことに気づき、無垢材を使った断熱玄関ドア「スペリオル」と引き戸「木鯨」を開発。「業界の中のオンリーワンを目指した」と語る。

令和元年には、よろず支援拠点の紹介のもと、産業技術センターと共に、圧密加工技術を使い秋田杉のやわらかさを克服した高耐久玄関ドアの開発も成功した。

そんな中、コロナ禍やウクライナ戦争をはじめとした世界情勢を受け、ウッドショックが起こる。新築住宅の施工数が減少し、県内の住宅メーカーなどへの売り込みだけでは、受注を増やすことは難しいと考えた腰山さんは、よろず支援拠点へ経営改善について相談を行った。

商品の特性を活かし、リターゲティング

同社が開発したオリジナル商品である「スペリオル」と「木鯨」は、一般的な玄関ドアと比べると1.5～2倍程度の価格となる。よろず支援拠点から、こだわりのある富裕層をターゲットにすべきというアドバイスを受けた腰山さん。無垢材でありながら省エネ基準・ZEHに適合した性能を持つことや完全オーダーメイドで対応できることを、東京をはじめとする関東圏の設計事務所をターゲットに営業する方針に切り替えた。

また、最近は施主自身もSNSで情報を集め、施工業者へ相談することも増えている。そこで、SNS担当の社員を置き、自社のInstagramアカウントを開設。納品前の製品や採用された事例を紹介するなど、積極的な情報発信に取り組んでいる。腰山さんは「高級カスタム木製品として売り出したことで、受注は増えつつあります。ドア製品だけでなく、今後も住宅関連の新たな商品開発に取り組む予定です。常に新しいことに取り組んでいきたいですね。」と今後の展望について語った。



こしやま しんじ
代表取締役 腰山 真司

株式会社 コシヤマ
〒016-0171
能代市河戸川大須賀100
TEL: 0185-54-3214
FAX: 0185-54-3215
<https://www.wk-koshiyama.co.jp/>



H P

▶活用事例 秋田県よろず支援拠点

幅広い経営知識と高い専門性を有するコーディネーターが、相談者の課題を抽出把握して、課題解決を目指した提案に基づきチーム支援します。

【お問い合わせ】
秋田県よろず支援拠点
TEL. 018-860-5605



ドアは木枠とともに納品、現地で施工される。
湿度の異なる地域でも調整できるよう工夫したという。



隠し丁番を採用。防犯性が高いだけでなく、ドア本来のデザインを引き立たせてくれる。



ドアの製造工場に隣接する内部建具の工場。